

11月・12月の管理ポイント



ホームページアドレス
http://www.tomo-green.com/

第84号

11月は朝夕の冷えと初霜が見られる時期です。
強風と乾燥が続き、グリーンも予想以上に乾きやすくなってきます。
また、ベントの生育期で大量の糖を必要とし、コウライは休眠期となり、貯蔵糖類を蓄えておかなければなりません。
来春の萌芽のために、十分な糖の供給をおこなってやりましょう。

グリーンメカ

貯蔵糖類を確保して来春の萌芽期を乗り切る...

11月は、生育期のため糖類消費が激しい時期です。
曇天が続く日は、光合成が不十分で、折角の施肥が完全にエネルギーにかえられません。
グリーンメカを処理して糖類を補給し、12月の休眠期に備えましょう。
貯蔵糖類が十分にあれば、耐寒性・耐凍性が増強され、来春の萌芽期は均一に芽出しします。
使用量：5～10ml/m² 1ℓ/m²以上散布

プライマーセレクト

強風によるグリーン表面の乾燥に...

強風による乾燥の厳しい11月は、油断するとすぐにグリーン表面が乾燥しすぎてしまいます。
プライマーセレクトを処理することによって、均一な水分分布を目指し、乾燥害からグリーンを守りましょう。
使用量：1～2ml/m² 200ml～1L/m²散布 散布回数 1ヶ月～1ヶ月半に1回

コ・エンザ

芝生の色出しに...

補酵素の働きで植物内の活性を高め、晩秋にかけて色落ちする時期を遅らせます。
また、古くなった下葉が焼けたようになり、その後のサッチング処理で、グリーン表層のサッチ(有機残渣)が
取れやすくなります。
使用量：0.5～1.0g/m² 0.5～1.0ℓ/m²散布

カラーメイトプロ・オーダーグリーン

キーパーの好みでお選びください...

カラーメイトプロ：元の芝生の緑色を浮き立たせるタイプで自然な緑色感が特長です。
オーダーグリーン(NO.20、50、70、90)：明緑～暗緑までにお好みのタイプを選んで頂けます。
両剤ともリーフシールドの加用(150～200倍)により、色持ちもよく霜融けを早めることができます。
使用量：カラーメイトプロ 200～400倍 100～300ml/m²散布
オーダーグリーン 50～100倍 150～300ml/m²散布

リーフシールド

芝生の耐乾性・耐寒性を高めるには...

リーフシールド処理により葉面はコーティングされ、蒸散が抑えられます。
葉面温度が下がるのを軽減し、また乾燥からも守ります。
着色剤との組み合わせにより、葉面温度が上昇し、霜が早く溶けます。
使用量：200倍 150～200ml/m²散布

硫化水素が土壌中に蓄積されると何故問題なのか？

一般に、土壌中に硫化水素が溜まると土壌中がドブ臭くなり、根腐れの原因の一つといわれています。

それと同時に、植物の根を刺激し、養分吸収を妨げる働きをされています。それでは、硫化水素は植物のどの養分の吸収を妨げるのでしょうか。

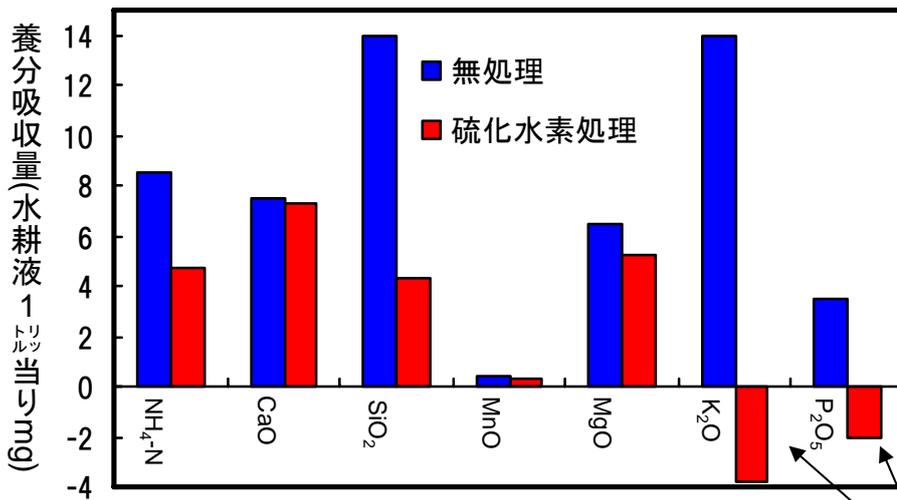


図1 硫化水素によるイネの養分吸収阻害

硫化水素による影響は、カリウム、リンが最も大きく、ほとんどの物質の吸収を低下させる結果を示している。

全く吸収されない!!

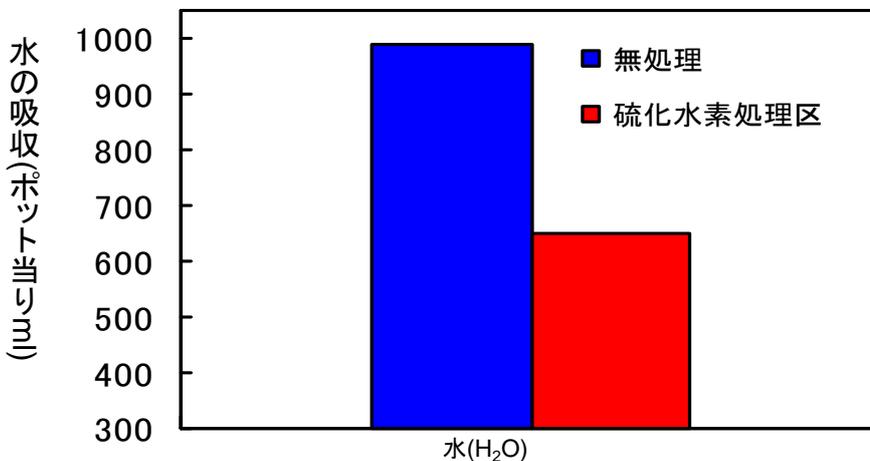


図2 硫化水素による水の吸収阻害

硫化水素による影響は、水分の吸収にも影響を及ぼしている。